

映画「スタートライン」はニッポン中のためらう人のために撮った映画でした。

編集者との打ち合わせ場所のミスで私が涙を流してまで本音を吐き出した日が、まさにこの本の「スタートライン」になりました。

スタートラインに続く日々



生まれつき耳が聞こえない。コミュニケーション苦手。だから私はずっとカメラを回し続ける。
 “ちょっぴりカッコ悪い”映画監督のこれまでとこれから——。
 現場の舞台裏と、映画監督・今村彩子の現在地点。今こそ語る。今村監督初の単著。

目次

はじめに ミスで泣く女

◆映画制作

- 「Start Line」(スタートライン)ドキュメンタリー／2016年
- 「珈琲とエンピツ」ドキュメンタリー／2011年
- 「架け橋 きこえなかった3.11」ドキュメンタリー／2013年
- 「11歳の君へ ～いろんなカタチの好き～」DVD教材／2018年
- 「アスぺのまあちゃん」／制作中



◆スタートラインに続く日々／2012～2019

私は身長153センチの映画監督です/映画の道に進むきっかけを作ってくれた父/小学生時代の夢は童話作家だった!/母からもらった1冊の本/6冊の英語の交換日記/君はありのままでもいいんだよ。環境を変えればいいんだ/ろう学校の子どもたちも恋愛したりケンカするんだよ/ニューヨークロケ/昭和を切り拓いたろう女性たち/聞こえない妻が働き、聞こえる夫が主夫をする/友達からはじめようよ/牛乳瓶のキャップ/カミングアウト/朝市のおじさん/小学校の子どもたち/HIV・エイズ予防啓発動画の制作/押したり並んで歩いたりしながら考えたこと/共に生きる難しさ/「好きな食べ物は何か?」/「筆談です」/大きく、高く/「同じ」と「違い」

おわりに 「障害者」という言葉

判型:四六判/並製 328頁 定価:本体1,500円+税
 ISBN:978-4-908957-10-9 C0074

著者略歴 今村 彩子 (いまむら あやこ)

1979年、名古屋市に生まれる。映画監督。ろう者。Studio AYA代表。愛知教育大学卒。大学在籍中にカリフォルニア州立大学ノースリッジ校に留学し、映画制作を学ぶ。大学で講師をするかわら映画を制作し、全国各地で上映。講演にも力を入れる。主な作品である「珈琲とエンピツ」(2011)は、全国の劇場で公開された。東日本大震災で被災した聞こえない人取材した「架け橋 きこえなかった3.11」(2013)。他に自転車ロードムービー「Start Line(スタートライン)」(2016)、ろう・難聴LGBT取材したDVD教材「11歳の君へ ～いろんなカタチの好き～」文科省選定作品(2018)など。手話と字幕で分かるHIV/エイズ予防啓発動画(2018)を無料で公開している。現在は、「アスぺのまあちゃん」(仮)を撮影中。Yahoo!ニュースで取材したことを動画と文章で発信している。[Studio AYA]https://www.studioaya.com



本書のご注文(お客様のご都合の良い方法でご注文ください)

- 1.下記の注文用紙に記入し小社あてFAX(桜山社からお客様へ発送)
- 2.桜山社ホームページ内のwebストア(桜山社からお客様へ発送)

※小社からご連絡いたしますので、その後ご入金をお願いいたします。

○お振込み先 **【銀行】** 三菱UFJ銀行 滝子支店(普) 0099813 サクラヤマシャ エグササンシロウ
【郵便】 記号 12040 番号 14302911 桜山社 江草三四朗
 ※大変恐れ入りますが、お振込み手数料はお客様でご負担ください。

○お申込み・お問合わせ先 TEL:052-853-5678 FAX:052-852-5105 メールアドレス:info@sakurayamasha.com
 ホームページ:https://www.sakurayamasha.com(担当:江草/エグサ)

○ご注文用紙

お名前	電話番号
ご住所 〒	
書籍『スタートラインに続く日々』1,620円(税・送料込み) ×	冊 / 合計 円
お振込みされた日: 年 月 日 (<input type="checkbox"/> 銀行 / <input type="checkbox"/> 郵便) ←お振込み先にチェックを入れてください。	